

CREATE VALUE FOR PEOPLE AND SOCIETIES.

保険を、人と社会のために。



サステナビリティレポート 2019

[ダイジェスト編]

共有価値の創造を通じ、 社会とともに成長する 企業グループをめざして

株式会社T&Dホールディングス
代表取締役社長
上原 弘久



T&D保険グループは、太陽生命、大同生命、T&Dフィナンシャル生命の生命保険会社3社を中心に、生命保険事業を中核とする企業グループです。企業の事業活動と社会の関係を見つめなおし、「価値の創造を通じて、人と社会に貢献する」ことを企業理念とする私たちの思いを、改めてみなさまにお伝えします。

T&D保険グループのCSRは新しいステージへ

当社グループは2011年にグループ会社横断の組織である「グループCSR委員会」を創設し、グループとしての思いを形にするCSRを推し進めてきました。

CSRは、企業が行う社会貢献活動から、社会に向けた価値の創造とそれを通じた企業成長の取り組みであるとの理解が進んだと考えています。当社グループのCSRも着実に進化してきました。私たちの思いとみなさまの企業に対する期待が同じ方向を向いた今、当社グループのCSRは、新しいステージ「共有価値創造経営」に入ります。

T&D保険グループの目指す姿

当社グループは2019年度を始期とする中期経営計画「Try & Discover 2021 共有価値の創造」を策定しました。

中期経営計画策定に先立ち、私自身が委員長を務めるグループCSR委員会*において、SDGsの17の目標と169のターゲットから、当社グループが強みを活かして解決に貢献できる社会の課題を抽出。そこから、4つのグループCSRの重点テーマを選定しました。これらのテーマは、中期経営計画に記載した事業を通じた「共有価値の創造」により実現されます。社会的課題の解決を通じて持続可能な社会を実現すること、社会に価値を創造することで当社グループも企業として持続的に成長していくことを経営計画全体を貫く方針とし、日々の事業に取り組んでいきます。

価値創造を通じたSDGsへの貢献

共有価値創造を経営計画の目指すところに置いた当社グループにとって、行動の結果はより良い世界の実現を目指すSDGsへの貢献と結びついていなければなりません。絶えず変化する人と社会の課題は、当社グループにとって挑戦すべきビジネスチャンスでもあります。保険グループである当社グループの特色と強みを活かし、事業活動のなかで人と社会の課題に向き合い、課題解決に貢献することを通じて社会に価値を産み、同時に企業価値を向上させていきます。

T&D保険グループの経営方針とサステナビリティ

生命保険業を事業の中心に置く当社グループの特徴の一つに、事業の長期性があげられます。グループの経営計画の策定にあたり、長く存続し、安定的に成長していく企業とはどのような企業なのかを改めて考えました。見えてきたのは、個人のお客さまにも法人のお客さまにも、なくてはならないと思っただけの企業。時代を超えて、広く社会から信頼され、必要な会社と認めていただける企業と理解しました。私たちに必要なのは、絶えず変化する社会の課題に向き合い、社会が必要とする価値を提供し続けることです。

私たちT&D保険グループは、常に社会と価値を共有し、社会とともに持続的に成長する保険グループであることを目指し、これからも一歩一歩、その歩みを続けてまいります。

*2019年4月よりグループSDGs委員会に改編

組織のプロフィール

T&D保険グループの事業概要

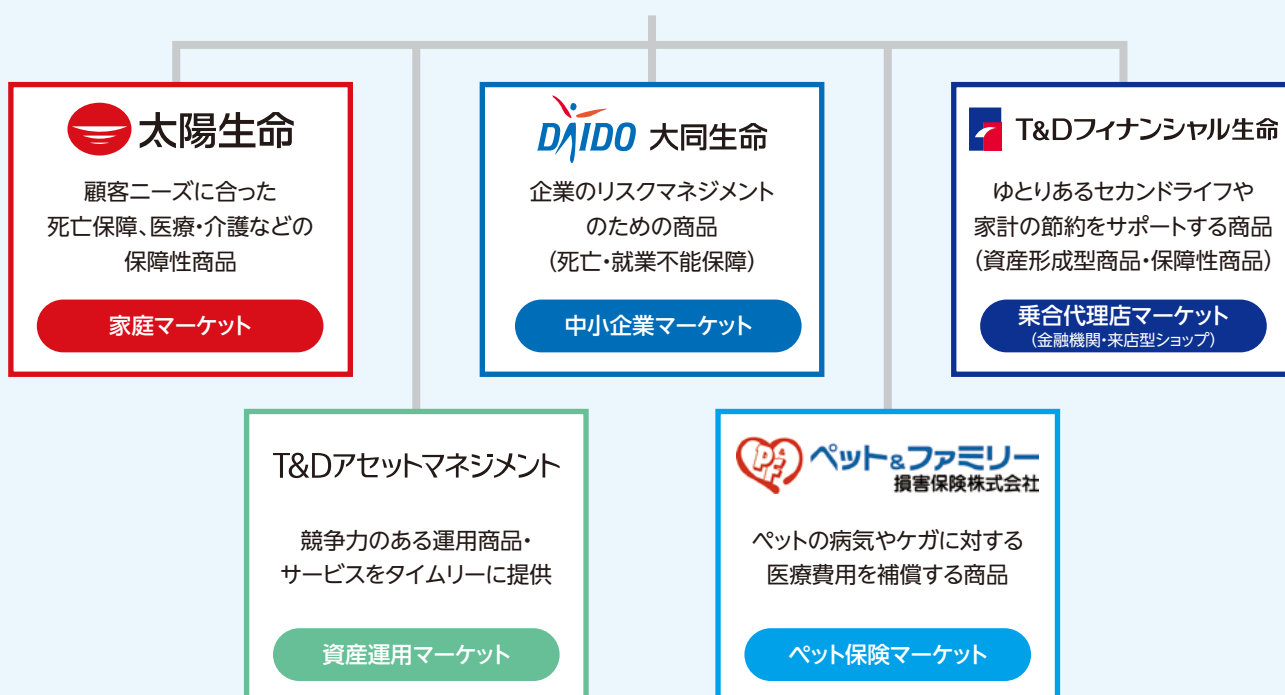
T&D保険グループは、持株会社であるT&Dホールディングスのもと、3つの生命保険会社(太陽生命、大同生命、T&Dフィナンシャル生命)を中心とする企業グループです。家庭マーケットに強みを持つ太陽生命、中小企業マーケットに強みを持つ大同生命、乗合代理店(金融機関・来店型ショップ)マーケットに強みを持つT&Dフィナンシャル生命が、それぞれのビジネスモデルにおける強み・独自性を最大限発揮し、みなさまの暮らしとビジネスをサポートしています。

● グループストラクチャー

2019年4月1日現在

T&Dホールディングス

子会社、関連会社19社で構成する
T&D保険グループの要となる持株会社です



上記以外の主なグループ会社

保険関連事業

- T&Dコンファーム株式会社
- 東陽保険代行株式会社
- 株式会社大同マネジメントサービス

資産運用関連事業

- T&Dリース株式会社
- 太陽信用保証株式会社
- エー・アイ・キャピタル株式会社

総務・事務代行等関連事業

- T&Dカスタマーサービス株式会社
- T&D情報システム株式会社
- 日本システム収納株式会社
- 株式会社全国ビジネスセンター
- Thuriya Ace Technology Company Limited

経常収益

21,401

億円

経常利益

1,469

億円

純利益[※]

728

億円

従業員数

19,489

人

※親会社株主に帰属する当期純利益
収益・利益は2018年度、従業員数は2019年3月末時点

私たちは、社会的課題への取組みを通じ、価値を創造し、人と社会に貢献します。

T&D保険グループは、事業活動に関わるさまざまなCSR活動の分野から、社会にとっての重要度が高く、また当社グループの事業との関連が大きい社会的課題の優先度を確認し、重点的に取り組む4つのCSR重点テーマを定めています。

SDGsへの貢献

SDGs(持続可能な開発目標)は、持続可能な世界を実現するために、世界各国が合意して取り組む17の目標です。



重点
テーマ
1

すべての人の健康で豊かな暮らしの実現

▶P4



重点
テーマ
2

すべての人が活躍できる働く場づくり

▶P6



重点
テーマ
3

気候変動の緩和と適応への貢献

▶P7



重点
テーマ
4

投資を通じた持続可能な社会への貢献

▶P8



共有価値

グループ経営理念

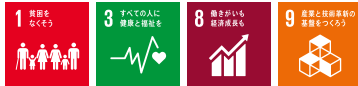
グループCSR憲章

T&D保険グループとステークホルダーのみなさま

ステークホルダーのみなさまとの積極的な対話を、T&D保険グループCSR憲章に謳っています。
T&Dホールディングスとグループ各社は、お客さま、代理店などのステークホルダーのみなさまとのあらゆる接点でいただいた声を経営に活かしています。

主なステークホルダーとの対話	株主・投資家	株主総会、決算説明会、機関投資家への個別ミーティング、株主通信の発行 など
	お客さま	お客さまの声、お客さまアンケート、お客様懇談会、事業報告懇談会、サービス品質向上委員会、サービス監理委員会 など
	従業員	教育研修、人権研修、従業員意識調査、労働組合との意見交換協議、内部通報制度 など
	環境保護・地域社会への貢献	国連グローバル・コンパクト、21世紀金融行動原則、一般社団法人日本UNEP協会参加、公益財団法人日本ダウン症協会への支援、公益社団法人日本フィランソロピー協会への協力、太陽生命の森林の活動、里山保全再生ネットワークの活動支援など





すべての人の健康で豊かな暮らしの実現

基本的な考え方

生命保険業を事業の中心に置くT&D保険グループにとって、すべての人の健康で豊かな暮らしの実現への貢献は、最も基本的な社会的責任です。少子高齢化の進展をはじめ、社会の変化により生じるお客さまのさまざまなリスクの解決に寄与する商品・サービスの提供は、当社グループにとって使命であり、成長の機会です。

太陽生命の取組み

時代の変化を先取りした新商品

太陽生命は、超高齢社会「人生100歳時代」の到来に向け、シニアのお客さまにより大きな安心をお届けするために、高品質の商品・サービスの提供に取り組んでいます。2018年10月には、認知症になった場合の保障に加え、認知症にならないための予防の段階からお客さまをサポートする「ひまわり認知症予防保険」を発売しました。



太陽の元気プロジェクト

太陽生命は、「元気に長生きする」という社会的課題に応えるため、「太陽の元気プロジェクト」を展開しています。最長70歳まで働ける雇用制度の導入、認知症予防サービスの提供、全国各地での「認知症セミナー」への協賛等の「従業員」「お客さま」「社会」を元気にする取組みが外部機関から評価され、「健康経営優良法人～ホワイト500～」に認定されました。



大同生命の取組み

健康経営®の推進と経営支援サービス

大同生命は、中小企業とそこに働く人々が生き活きと活躍できる社会づくりと、高齢化社会が抱える課題解決を目指し、「健康経営®」の実践を支援しています。

また、中小企業経営者や個人事業主の介護保障に対するニーズにお応えするため、「介護リリーフα」を2019年4月に発売しました。付帯サービスである「介護コンシェル」と一体的にお届けすることにより、介護にかかる「経済的な負担」と「肉体的・精神的な負担」を解決するための「トータルサポート」をご提供していきます。

※「健康経営®」は、企業が従業員の健康管理を経営的視点から考え、戦略的に従業員の健康管理・健康づくりを実践することです。特定非営利活動法人 健康経営研究会の登録商標です。

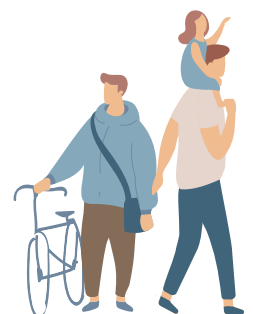


安否確認システムの提供開始

中小企業経営者の「大規模災害発生時に、確実・迅速に従業員の安否状況を確認したい」という想いにお応えするため、所定の要件を満たすご契約者を対象とする「安否確認システム」の無料提供サービスを、2019年4月より生命保険業界で初めて導入しました。

外国人従業員の取扱いを拡大

中小企業経営者の「国籍にかかわらず、すべての従業員を大切にしたい」という想いにお応えするため、2019年6月より、外国人従業員の方に外国語で生命保険の申込手続きをいただく取扱いを開始しました。



T&Dフィナンシャル生命の取組み

多様なニーズに応える商品

T&Dフィナンシャル生命は、銀行等の金融機関や来店型の保険ショップを通じて保険商品を提供しています。

2018年10月には、一時払の終身保険「みんなにやさしい終身保険」を改定し、職業告知のみで最高95歳まで加入できる「通貨分散コース」を追加しました。

また、2019年1月には平準払の終身医療保険「家計にやさしい終身医療」を改定しました。この改定では、三大疾病保障をさらに充実させたほか、「健康」への意識が高い方に対する保険料を割安に設定し、ニーズの高い特約・特約の新設による保障内容の拡充を図りました。

多様化するお客さまニーズに応えるため、商品ラインアップを拡充しています。



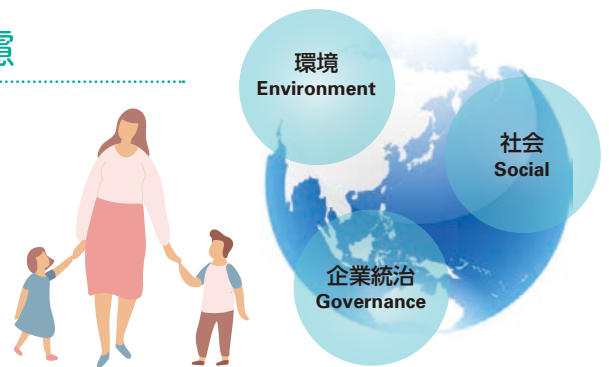
お客さまサービス向上に向けた取組み

T&Dフィナンシャル生命では、シニア層のお客さまや障がいのあるお客さまへのサービス向上のため、お客さまとの窓口であるお客様サービス本部の全役職員が一般社団法人日本ユニバーサルマナー協会が主催する「ユニバーサルマナー検定」3級の資格を取得しました。また、一定年齢を迎えた方を対象に、ご請求漏れがないかなどをご確認させていただく「契約点検制度」も継続実施しています。

T&Dアセットマネジメントの取組み

アクティブ運用商品におけるESG要因の考慮

T&Dアセットマネジメントは2015年より、ESG（環境、社会、企業統治）の観点から優れた企業に選別投資する日本株式ESGリサーチファンドを運用しています。その運用経験・ノウハウを基に、他のアクティブ運用商品においてもESG要因の運用プロセスへの統合（インテグレーション）を漸次進めています。



ペット&ファミリー損害保険の取組み



一緒に生きていく家族のために

ペット医療およびその費用への関心がますます高まるなか、ペット&ファミリー損害保険では、飼い主さまとペットが安心して治療を受けることができるよう、ペットの治療にかかった費用の一定割合を補償する商品「げんきナンバーわん」「げんきナンバーわんスリム」をご提供しています。また、ホームページに「Pet News Storage」を掲載し、ペットライフを充実させるための情報を定期的に発信しています。



すべての人が活躍できる働く場づくり

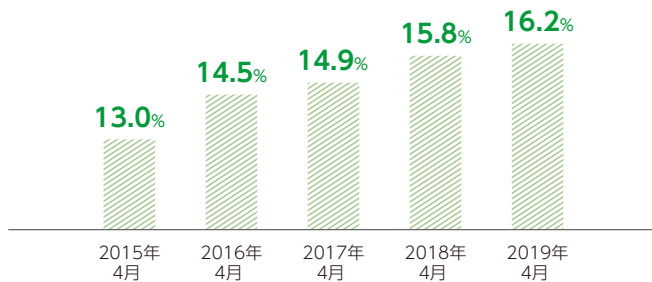
基本的な考え方

すべての人が活躍できる働く場づくりを進めるためには、すべての人の人格と多様性が尊重されるとともに、健康で安全な職場環境の実現が必要です。T&D保険グループは、人権の保護を支持し尊重すること、健康で安全に働ける職場づくりを進めることは、持続可能な社会の実現に必要であり、企業の活性化に向けた機会でもありと考え、さまざまな取組みを進めています。

女性活躍の推進

女性が従業員の多数を占めるT&D保険グループにとって、女性のさらなる能力発揮は持続的な企業価値向上の源泉であり、女性活躍はグループが継続して取り組む重要な経営課題です。生命保険会社3社では、各社で人事・処遇制度の改定や各種の両立支援制度を導入し、女性活躍推進の取組みを着実に前進させるために、ビジネスモデルに基づいた行動計画を策定しています。

女性管理職比率の推移(生命保険会社3社合計)



ワーク・ライフ・バランスへの取組み

T&D保険グループ各社では、従業員が家事や育児、介護などの家庭の責任を果たしながら仕事で十分に能力を発揮し、パフォーマンスを高めるために、育児休業などの制度の充実や総労働時間の縮減など、さまざまな取組みを強化しています。また、男性の育児参加を奨励した結果、生命保険会社3社では男性の育児休業取得率が100%となるなど、グループ一体となってワーク・ライフ・バランスの実現を推進しています。

T&D保険グループ各社は、子育てサポート企業として認定されています



さまざまな社員が働きやすい環境づくり

● 障がい者雇用

2019年3月時点、生命保険会社3社の障がい者雇用数は合計381名(うち、2018年度の新規雇用者は40名)、障がい者雇用率は2.56%です。障がいのある従業員が働きやすい職場づくりのため、安心して採用選考に臨んでもらうための取組みから入社後の働きやすい職場環境の整備まで、会社全体で就労支援に取り組んでいます。今後も障がいのある従業員が働きやすい職場づくりをさらに進め、就労機会の拡大に努めます。

● LGBTフレンドリー

T&D保険グループでは、ダイバーシティ(多様性の尊重)の観点から、LGBT(性的マイノリティ)フレンドリーな職場環境の整備に努めています。LGBTへの理解を進める研修の実施や相談窓口の設置、休暇や福利厚生制度で同性パートナーを配偶者と認める取扱い等の取組みを進めています。



健康経営の取組み

生命保険会社3社は、経済産業省が従業員の健康増進に取り組む「健康経営」を普及させることを目的に定めた健康経営優良法人認定制度に基づき、「健康経営優良法人～ホワイト500～」に認定されています(太陽生命、大同生命は3年連続認定)。





気候変動の緩和と適応への貢献

基本的な考え方

T&D保険グループは「T&D保険グループ環境方針※」を制定し、企業活動に際して地球環境の保護に配慮して行動することを表明しています。同方針に基づき「グリーン購入基準等細則」を策定し、環境負荷の低減に資する商品やサービスの優先購入を推進しています。地球規模の気候変動は、当社グループにとって事業継続のリスクであると同時に、新しい事業活動の機会でもあります。

※「T&D保険グループ環境方針」は <https://www.td-holdings.co.jp/csr/csr-policy/environment.html> に掲載しています。

当社グループは、グループの環境保護関連の目標を設定し、達成に向けた取組みを進めています。目標は、「電力使用量の削減」「事務用紙使用量の削減」「グリーン購入比率の向上」の3つです。

●電力使用量

T&D保険グループのCO₂排出量※は、その90%以上が電力使用に由来しているため、電力使用量の目標を設定しエネルギー使用量およびCO₂排出量の削減に努めています。デマンド監視システムによる各ビルのピーク電力の設定や、「早帰り日」の実施、離席時のPCの省エネモード設定、退社時のプリンター・複合機の電源オフなど電力使用量の削減に努めています。

※SCOPE1(自社直接排出)+SCOPE2(購入するエネルギーの間接排出)

●事務用紙使用量

会議室への大型ディスプレイ設置とタブレット端末の配備を進め、取締役会、経営会議などの重要会議を含む会議のペーパーレス化を実施しました。また、モバイルPCの配付、無線LANの

配備、ミーティングテーブルへのディスプレイの設置などを進め、業務の効率化とペーパーレス化に取り組んでいます。

●グリーン購入

文房具などを購入する際に、「グリーン購入法適合商品」や「エコマーク認定商品」などを優先的に選ぶ「グリーン購入」を推進しています。環境に配慮した調達の数値の集計だけでなく取組施策についてもグループ各社で情報を共有し、環境保護の取組みに役立てています。

気候関連財務情報の開示

気候変動は地球規模の課題であり、その影響は世界の経済行動と社会の変化を通して人々の暮らしに大きな影響を及ぼします。T&D保険グループは、世界の金融システムの安定を担う「金融安定理事会(FSB)」により設置された「気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)」の情報開示の提言に賛同を表明しました。当社グループは、気候変動がもたらす事業のリスクと機会のわかりやすい情報開示に積極的に取り組んでいきます。



森林保全活動 太陽生命

生命保険のパンフレット・約款等、業務上さまざまな紙を使用する生命保険会社として、森林資源の還元と緑化保全を目的に、栃木県と滋賀県に「太陽生命の森林」を設置し、森林保全活動を進めています。

太陽生命の森林

2018年は間伐や散策道整備などの森林整備活動を実施したほか、公益財団法人日本ダウン症協会のご家族をお招きして「森林教室」を実施しました(年間延べ参加者数110名)。



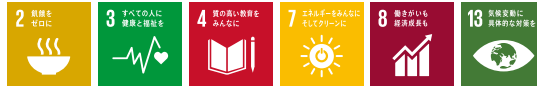
栃木県那須塩原市
 設立: 2006年3月
 面積: 約4.8ha
 CO₂吸収量: 19t
 (林野庁評価)

太陽生命くつきの森林

2018年は林道整備やアカマツ林の落ち葉掻きなどの森林整備活動を実施したほか、地元小学生がどんぐりから苗木を育て、卒業時に植樹を行う「どんぐりプロジェクト」を実施しました(年間延べ参加者数276名)。



滋賀県高島市
 設立: 2007年11月
 面積: 約12.7ha
 CO₂吸収量: 81t
 (高島市評価)



投資を通じた持続可能な社会への貢献

基本的な考え方

生命保険業を事業の中心とする当社グループにとって、投資を通じて持続可能な社会の実現に貢献することは、最も基本的な役割の一つと考えています。当社グループは、長期の資金を運用する機関投資家の投資行動が持続可能な世界の実現の取組みに及ぼす影響を重視し、環境、社会、企業統治に配慮した投資を行うことで、投資行動を通じて持続可能な社会の実現に貢献します。

責任投資原則(PRI)への署名

太陽生命、大同生命、T&Dアセットマネジメントは、国連が支援する責任投資原則(PRI: Principles for Responsible Investment)*に署名し、環境・社会・企業統治(ESG)の課題を考慮した投融資の実行を通じて、持続可能な社会の実現に貢献しています。

*責任投資原則(PRI)は、2006年に国連事務総長であったコフィー・アナン氏が世界の金融業界に対して提唱した行動規範です。なお、同原則には、世界で2,200超、日本では75の金融機関等が署名しています(2019年8月現在)。

Signatory of:



「責任ある機関投資家」の諸原則

太陽生命、大同生命、T&Dアセットマネジメントは、企業の持続的成長を促すなど、機関投資家としての責任を果たすための原則である、「責任ある機関投資家」の諸原則(日本版スチュワードシップ・コード)の趣旨に賛同し、その受け入れを表明しています。各社の諸原則に対する方針と取組みの詳細は、各社のホームページで公開しています。



ESG投資の取組み事例

太陽生命、大同生命、T&Dアセットマネジメントでは、次のようなESG投資の取組みを行っています。

環境問題の解決に貢献する「グリーンボンド」への投資

「スマートエネルギー都市づくり」「気候変動の影響への適応」の施策や、CO₂削減等の環境改善効果が期待される都市鉄道利便増進事業に取り組む自治体や独立行政法人の事業を資金面で支援する、グリーンボンドへの投資を実施しています。



再生可能エネルギー発電事業、エネルギー効率化事業への投融資

クリーンエネルギーを提供する国内の太陽光発電事業を投資対象とするファンドへの投資や、エネルギー効率化事業への融資を行いました。当取組みを通じ、地球温暖化対策の推進やエネルギー自給率の向上に貢献しています。



豪州における水不足問題の解決に貢献できる「海水淡水化プロジェクト」への融資

豪州の州政府機関が官民連携で取り組む水道水供給を目的とした海水淡水化プロジェクトへの融資を実行しました。本融資は、水不足に苦慮してきた地区における社会インフラの整備に貢献する取組みです。



中南米・カリブ海地域諸国での教育・若年層支援・雇用支援に貢献する「EYEボンド」への投資

「EYE (Education教育・Youth若年層支援・Employment雇用支援)ボンド」とは、その調達資金が、米州開発銀行のEYEボンド・プログラムの各プロジェクトに充当されることを目的として発行される債券で、同地域の教育・若年層保護・雇用支援を通じた持続可能な社会の実現に貢献しています。



社会活動

T&D保険グループは、社会性、公共性が高い生命保険業を営むグループとして、社会活動や環境の保護に取り組んでいます。保険グループとして持続的に成長を遂げ、公共的使命と社会的責任を果たしていくことを目指し、主に「健康と福祉の向上」「健全な社会の発展」などの分野を中心とした活動に取り組んでいます。

太陽生命

全国一斉クリーンキャンペーン

太陽生命は、地域社会に対する貢献活動として全国で清掃活動に取り組んでいます。2018年度は、全国で5,749名(従業員の家族を含む)が参加し、日ごろお世話になっている地域への感謝の気持ちを込めて清掃活動を行い、社員が一丸となって社会貢献活動に取り組みました。

公益財団法人日本ダウン症協会への支援

太陽生命と太陽生命グッドウィル・サークル友の会*は、公益財団法人日本ダウン症協会と交流し、支援をしています。主な活動として、同協会の賛助会員として活動を支援するほか、同協会の活動に職員がボランティアとして参加するなどしています。

※太陽生命および関連会社の役職員等で構成され、2019年3月31日時点での会員数は8,200名です。



大同生命

障がい者スポーツへの協賛支援

大同生命は、毎年「全国障害者スポーツ大会」に特別協賛しています。また、2015年1月から公益財団法人日本障がい者スポーツ協会、2018年1月から一般社団法人日本身体障害者アーチェリー連盟のそれぞれオフィシャルパートナーとして、障がい者スポーツのより一層の普及・発展に向けた取り組みを行っています。

みんなでGDH運動

2017年度より、地域・社会への貢献活動の一環として、全社をあげて「みんなでGDH運動」を実施しています。この運動では、全国の支社・本社の各部門がそれぞれ創意工夫して、地域に密着した清掃活動や障がい者への支援活動、途上国への寄付など、さまざまな活動に取り組んでいます。

※GDH(Gross Daido Happiness)とは「大同生命に関係するすべてのステークホルダーの満足度」のこと



T&Dフィナンシャル生命

「日本ろう者サッカー協会」とオフィシャルパートナー協定を締結

T&Dフィナンシャル生命は、2018年6月より一般社団法人日本ろう者サッカー協会とオフィシャルパートナー協定を締結しています。同協会のオフィシャルパートナーとして、ろう者サッカー・フットサル日本代表の活動のサポートや障がい者スポーツの振興を通じ、ろう者サッカー・フットサルの発展と普及に貢献していきます。



グループ全体として

献血活動

T&D保険グループは、東京都赤十字血液センターに協力し、夏季と冬季の年2回、各社本社部門(東京)が共同で献血活動を行っています。グループ共同で各社の役職員に協力を呼びかけ、2018年度は、延べ 359名が献血に参加しました。

さあ、保険の新次元へ。



グループブランドステートメント

私たちがつくりたいのは、
保険だけではない。
保険を超えて、
誰もがリスクを恐れることなく
可能性を豊かに広げていく未来だ。
どんな変化の時代にあっても、
誰もが希望を抱ける社会だ。

一人ひとりが Try&Discover の精神をもち、
あたらしいことをつぎつぎと。
私たち T & D 保険グループなら、
きっとできる。

社外のご評価

ESG評価機関からの評価

当社グループは、CSR・ESG課題の取組みについて、わかりやすく透明性のある情報開示に努めています。国内外のESG評価機関、インデックス構築会社から高い評価を受けており、主要なESGインデックスの構成銘柄に採用されています。

※ESG投資とは、企業の環境問題や社会問題への取組み、ガバナンス構築の取組みなど、財務データ以外の観点も含めて評価し、投資先企業を選定する投資手法です。

国際株式インデックス	国内株式インデックス
 FTSE4Good MSCI 2019 Constituent MSCI ESG Leaders Indexes	 FTSE Blossom Japan MSCI 2019 Constituent MSCI ジャパンESG セレクト・リーダーズ指数 MSCI 2019 Constituent MSCI日本株 女性活躍指数 (WIN)

MSCI ESG Research logo disclaimer: THE INCLUSION OF T&D Holdings, IN ANY MSCI INDEX, AND THE USE OF MSCI LOGOS, TRADEMARKS, SERVICE MARKS OR INDEX NAMES HEREIN, DO NOT CONSTITUTE A SPONSORSHIP, ENDORSEMENT OR PROMOTION OF T&D Holdings, Inc. BY MSCI OR ANY OF ITS AFFILIATES. THE MSCI INDEXES ARE THE EXCLUSIVE PROPERTY OF MSCI. MSCI AND THE MSCI INDEX NAMES AND LOGOS ARE TRADEMARKS OR SERVICE MARKS OF MSCI OR ITS AFFILIATES.

株式会社 T&Dホールディングス

〒103-6031 東京都中央区日本橋2-7-1 TEL:03-3272-6110(代)
<https://www.td-holdings.co.jp/> mail: csr@td-holdings.co.jp

UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。